

専門分野・基礎看護学 授業計画

授業科目及び時間数	診療に伴う看護Ⅲ 1単位 30時間 (薬物療法)		
開講時期	1年次前期		
担当教員	田村万寿美	実務経験	有
<p><科目のねらい> 本科目は、治療、処置などの内部環境を調整する技術の意義を理解し、健康の充足・維持増進のために実施される診療の補助技術に必要な基本的知識と援助技術の方法を習得することがねらいである。 <到達目標> 1. 薬物の剤形と特徴を理解し、正しい与薬、薬剤の管理方法を理解する。 2. 薬剤投与の方法を理解し、援助の実際がわかる。 3. 注射の基礎知識を理解し、各注射法の援助の実際がわかる。 4. 輸血管理の基礎知識を理解し、援助の実際がわかる。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 与薬の基礎知識 1) 与薬の意義と法律・薬物の吸収経路と体内動態 2) 薬物効果に影響する因子	講義	
2回目	1. 誤薬防止と薬剤被爆の防止 1) 看護師の役割・誤薬の起こりやすい状況と対策 2) 抗がん剤暴露の防止	講義	
3回目	1. 与薬の種類と援助の実際 1) 経口与薬吸入	演習	
4回目	1. 与薬の種類と援助の実際 1) 点眼・点鼻・点耳 2) 経皮与薬 3) 直腸内与薬	講義	
5回目	1. 与薬の種類と援助の実際	演習	
6回目	1. 注射の基礎知識 1) 注射法の種類と特徴 2) 注射器と注射針 3) 注射器と注射針 4) 注射の準備	講義	
7回目	1. 注射の準備 1) 注射器と注射針の準備 2) 薬液の準備	演習	
8回目	1. 注射の準備 1) プライミング	演習	
9回目	1. 注射の実施法 1) 皮内注射 2) 皮下注射 3) 筋肉内注射 4) 静脈内注射	講義・デモンストレーション	
10回目	1. 注射の実施法 1) 輸液速度の調整 2) 輸液ポンプ・シリンジポンプ	演習・デモンストレーション	
11回目	1. 注射の実施法 1) 点滴静脈内注射	演習・デモンストレーション	
12回目	1. 注射の実施法と与薬の援助 1) 皮下注射 2) 筋肉内注射 3) 静脈内注射 4) 直腸内与薬 5) 点滴静脈内注射 6) 輸液ポンプ・シリンジポンプ	演習	
13回目	1. 注射の実施法と与薬の援助 1) 皮下注射 2) 筋肉内注射 3) 静脈内注射 4) 直腸内与薬 5) 点滴静脈内注射 2) 6) 輸液ポンプ・シリンジポンプ	演習	
14回目	1. 輸液管理 1) 輸血の種類 2) 輸血の取り扱い 3) 輸血時の留意点と観察	講義・デモンストレーション	
15回目	終了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験 100%		
受講生に対するメッセージ	講義が中心ですが、演習も含まれます。演習はモデルを用いて行いますが、実際の患者に行うつもりで真剣に取り組みましょう。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院		
参考書			